

ふくしま

(題字：高齢者学級受講者 新栄町 佐藤 勝夫 さん)

第119号

平成30年12月1日発行

議会だより

発行：福島町議会

TEL 0139-47-2215

- | | | | | | |
|-------------|------|--------------|------|--------------|------|
| ■ 定例会 9 月会議 | P 2 | ■ 各議案の審議結果 | P 14 | ■ 議会による行政評価 | P 26 |
| ■ 定例会 8 月会議 | P 6 | ■ 文書質問 | P 15 | ■ 会議等出席状況 | P 32 |
| ■ 一般質問 | P 8 | ■ 諮問会議の答申 | P 18 | ■ 町民の声・議員の雑感 | P 34 |
| ■ 決算審査特別委員会 | P 11 | ■ 特別委員会の調査報告 | P 20 | | |
| ■ 議会費の使われ方 | P 13 | ■ 常任委員会の調査報告 | P 21 | | |

定例会9月会議

定例会9月会議は、9月19日から25日まで開会されました。

会議では、条例の一部改正、計画の変更、各会計補正予算・決算認定、人事案件など町長提出の21件を審議、いずれも原案のとおり可決し、5件の報告を受けました。

また、議会提案の意見書6件を可決し、一般質問では、3名の議員が、4項目について、町の対応や考え方をただしました。
参画者は2名でした。

■条例の一部改正

・福島町家庭的保育事業等の設備・運営に関する基準を定める条例の一部改正

【改正内容】

根拠省令である厚生労働省令の家庭的保育事業の設備・運営に関する基準の一部改正に準じた条例の一部改正。

■第5次総合計画の変更

総事業費

1億1,000万円増額

【変更理由】

新規に登載する事業や事業費等に変更が生じたため、総合計画を変更しました。
内容は次のとおりです。

◎総事業費等(件数及び財源)の変更 (単位: 件、千円)

区 分	件数	総事業費	財 源 内 訳			
			国・道支出金	地方債	その他	一般財源
変更前	153	5,064,050	938,900	2,247,700	681,150	1,196,300
変更後	155	5,174,050	938,900	2,283,300	767,450	1,184,400
増 減	2	110,000	0	35,600	86,300	△ 11,900

補正予算の内容

■一般会計補正予算(第5号)

第5次総合計画の変更などに伴い1億9千3百55万2千円を追加し、総額42億3千4百44万1千円となりました。
主な内容は次のとおりです。

○町有財産管理費

810万円の追加

ソーイング福島屋根外改修工事費として追加しました。
(総合計画登載の事業費変更)

○企画費

225万円の追加

「第2青函トンネルを実現する会」・準備会の設立に伴う活動助成金として追加しました。

○がんばる地元企業等応援事業費

6,250万円の追加

施設投資助成金を追加しました。
(総合計画登載の事業費変更)

○財政調整基金費

5,502万8千円の追加

繰越金の2分の1を下らない額を積立てるため追加しました。

○がんばる地元企業等応援基金費

6,256万5千円の追加

地元企業応援事業の財源とするため積立金を追加しました。

○水産加工振興協議会補助費

243万7千円の追加

イカ残滓処理費用に対する補助金として追加しました。

○繰出金

350万3千円の減額

介護保険特別会計と町立診療所特別会への繰出金を減額しました。

○職員給与費

1,045万7千円の減額

職員の人事異動・共済負担金率の変更などに伴い給料等を減額しました。

■国民健康保険特別会計補正
予算（第2号）

9千3百73万4千円を追加し、総額8億3千7百97万7千円となりました。

補正内容は、平成29年度決算に伴う繰越金を追加しました。

■介護保険特別会計補正予算
（第1号）

4千8百16万円を追加し、総額6億1千5百65万8千円となりました。

補正内容は、平成29年度決算に伴う繰越金を追加しました。

■後期高齢者医療特別会計補
正予算（第1号）

9万1千円を追加し、総額6千9百32万8千円となりました。

補正内容は、平成29年度決算に伴う繰越金を追加しました。

■浄化槽整備特別会計補正予
算（第1号）

1百50万円を追加し、総額3千9百24万9千円となりました。

補正内容は、今後発注予定の浄化槽工事費に不足が生じるため追加しました。

■国民健康保険診療所特別会
計補正予算（第3号）

3百49万4千円を減額し、総額2億2千1百26万円となりました。

補正内容は、職員の給与等が確定したため減額補正しました。

■水道事業会計補正予算
（第1号）

職員給与費に41万1千円を追加しました。

報 告

■一般質問等答弁事項進捗状
況調査の報告

追跡調査に対応する方針等の報告。

■専決処分した事件の報告

交通事故に係る和解・損害賠償の額を9月4日付けで専決処分した内容の報告。

■平成29年度財政健全化判断
比率の報告

平成29年度決算による財政健全化判断比率の報告。

■平成29年度一般会計継続費
精算報告

2カ年で継続して建設した水産物鮮度保持施設（製氷施設）の事業費精算の報告。

議会提出の意見書

意見書6件を可決し、関係機関に送付しました。

■「これからの高校づくりに
関する指針」を見直し、機
械的な高校統廃合を行わな
いことを求める意見書

北海道・道教育委員会に対して、2項目について強く要望するものです。

「これからの高校づくりに関する指針」を見直し、
機械的な高校統廃合を行わないことを求める意見書

前文省略

- 1 道・道教委は独自に少人数学級を高校で実施し、機械的な高校統廃合を行わないこと。
- 2 道・道教委は、地域の願いや実態に応じ、子どもの学ぶ権利や教育の機会均等を保障する立場から、「1学年4～8学級を望ましい学校規模」とする「これからの高校づくりに関する指針」を見直すこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

（平成30年9月25日議決）

北海道松前郡福島町議会議員 溝 部 幸 基

提出先 北海道議会議長、北海道知事、北海道教育委員会教育長

■「国の責任による35人以下
学級の前進」を求める意見
書

国に対して、2項目につい
て強く要望するものです。

「国の責任による35人以下学級の前進」を求める意見書

前文省略

- 1 国の責任で、小学校3年生以降の35人以下学級を計画的に前進させること。
- 2 国は35人以下学級実現のため、標準法を改正して教職員定数改善計画を立てること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

(平成30年9月25日議決) 北海道松前郡福島町議会議長 溝部 幸基

提出先 衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

地方公務員法・地方自治法の一部改正における新たな
一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

前文省略

- 1 地方公務員法・地方自治法の一部改正について、改めて制度変更について各自治体に対し周知徹底するとともに、実態の把握に向けて必要な調査等を行うこと。
- 2 新たな一般職非常勤職員制度によって必要となる財源については、地方財政計画に反映させるなど、その確保を確実に行うこと。その際、自治体が運営する地方公営企業や地方独立行政法人に雇用される職員もその対象とすること。
- 3 一般職非常勤職員への移行にあたっては、現に任用されている臨時・非常勤等職員の雇用確保・労働条件を維持するよう、各自治体に対し適切な助言を行い、また、人材確保・雇用の安定の観点から、処遇改善等について引き続き検討を行うこと。
- 4 非正規労働者の格差是正を求める「同一労働同一賃金」の法改正の動向を踏まえ、パートタイム労働法の趣旨を一般職非常勤職員に適用させるよう、更なる地方自治法の改正を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

(平成30年9月25日議決) 北海道松前郡福島町議会議長 溝部 幸基

提出先 衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官

■地方公務員法・地方自治法
の一部改正における新たな一般
職非常勤職員の処遇改善と雇
用安定に関する意見書

国に対して、4項目につい
て強く要望するものです。

■林業・木材産業の成長産業
化に向けた施策の充実・強
化を求める意見書

国に対して、2項目につい
て強く要望するものです。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

前文省略

- 1 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業・治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- 2 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

(平成30年9月25日議決) 北海道松前郡福島町議会議長 溝部 幸基

提出先 衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

■障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

国に対して、3項目について強く要望するものです。

障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

前文省略

- 1 障害児者が「暮らしの場」を選択できるよう、グループホームや入所施設・通所施設などの社会資源を拡充し、福祉人材を確保すること。
- 2 入所機能を備えた地域生活支援拠点を国の責任で整備すること。
- 3 前2項を実現するために、障害者関係予算を大幅に増額し、施策の重要な担い手になっている地方公共団体を財政的に支援すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

(平成30年9月25日議決) 北海道松前郡福島町議会議長 溝部幸基

提出先 衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官

■臓器移植の環境整備を求める意見書

国に対して、5項目について強く要望するものです。

臓器移植の環境整備を求める意見書

前文省略

- 1 国民が命の大切さを考える中で臓器移植にかかる意思表示について具体的に考え、家族などと話し合う機会を増やすことができるよう臓器移植に係る更なる啓発に努めること。
- 2 臓器提供施設における院内体制の整備を図るため、マニュアルの整備、研修会の開催など個々の施設の事情に応じたきめ細かい支援を行うこと。
- 3 臓器移植についての説明から臓器提供後のアフターケアまで、ドナーの家族に対してきめ細かな対応が可能となるよう移植コーディネーターの確保を支援すること。
- 4 臓器移植手術から移送までを担う臓器移植施設の担当医について負担軽減対策を講ずること。
- 5 国民が臓器移植ネットワークの構築されていない国において臓器移植を受けることのないよう必要な対策を講ずること。
 - ① ブローカーの厳罰化
 - ② 医師に対する、患者への渡航移植の危険性の告知義務
 - ③ 医師が臓器移植を受けた患者であると覚知した際、厚生労働省への告知義務
 - ④ 違法とは知らないで臓器移植を受けてしまった、善意のレシピエントへの精神面でのケア等

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

(平成30年9月25日議決) 北海道松前郡福島町議会議長 溝部幸基

提出先 衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣



平野隆雄副議長
北海道町村議会議長会表彰
平野隆雄副議長が北海道町
村議会議長会表彰規定（議員
25年以上）により自治功労者
として表彰されました。
定例会9月会議の開催前に
溝部幸基議長より表彰状が伝
達されました。

定例会8月会議

定例会8月会議は8月8日に開催されました。

会議では、工事請負契約の締結、財産の取得、補正予算など町長提出の議案7件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

参画者は2名でした。

■町道福島月崎幹線整備工事 請負契約の締結

7月26日に入札を行った町道の工事について、予定価格が5千万円以上のため、議会の議決に付すべき条例の規定に基づき議決しました。

区 分	内 容
目 的	町道福島月崎幹線整備工事
方 法	指名競争入札
金 額	50,220,000円
相手方	松前郡福島町 石岡・創拓経常建設共同企業体 代表者 株式会社 石岡組 代表取締役 石岡 眞



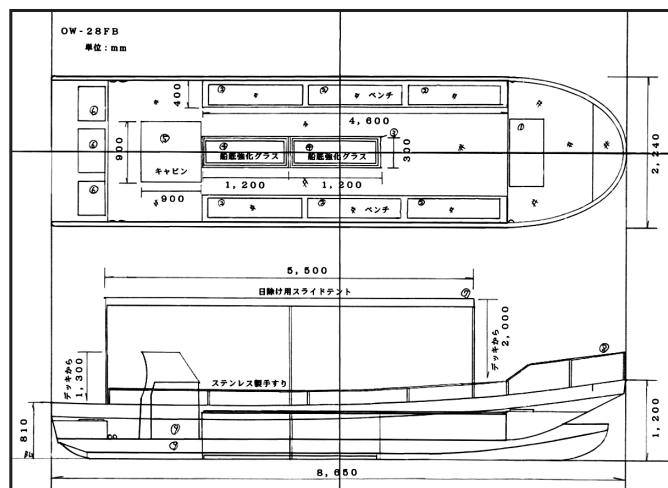
■財産の取得（4件）

7月26日に入札を行った財産（物品）の取得について、予定価格が7百万円以上のため、議会の議決に付すべき条例の規定に基づき議決しました。

取得する財産	防犯灯LED化照明導入（その1）
内容数量	一式
取得金額	12,279,600円
相手方	北海道市町村備荒資金組合 組合長 菊谷 秀吉 備荒資金組合の契約の相手方 檜山郡厚沢部町 （株）桧山電気工業 代表取締役 国仙 勝彦

取得する財産	防犯灯LED化照明導入（その2）
内容数量	一式
取得金額	10,044,000円
相手方	北海道市町村備荒資金組合 組合長 菊谷 秀吉 備荒資金組合の契約の相手方 松前郡福島町 福島電工 代 表 花田 康一

取得する財産	防犯灯LED化照明導入（その3）
内容数量	一式
取得金額	10,044,000円
相手方	北海道市町村備荒資金組合 組合長 菊谷 秀吉 備荒資金組合の契約の相手方 松前郡福島町 福島電工 代 表 花田 康一



取得する財産	福島町グラスボート
内容数量	一隻（12人乗りFRP製和船 1.6 t キャビン付き船底グラス仕様）
取得金額	8,421,344円
相手方	松前郡福島町 小笠原造船所 代 表 小笠原 明紀
取得方法	随意契約

■一般会計補正予算(第4号)

2千9百79万8千円を追加し、総額40億4千88万9千円となりました。

補正の主な内容は次のとおりです。

○岩部地区交流センター整備事業費

419万1千円の追加

岩部交流センター整備事業費として追加補正しました。

○町内会館整備事業費

789万9千円の追加

宮歌・豊浜町内会館整備事業費として追加補正しました。

○新緑公園整備事業費

100万円の追加

野球場のフェンス等の施設更新工事費として追加補正しました。

○空家等対策支援事業費

300万円の追加

解体希望者の増加に伴い補助金を追加しました。(当初10件の予定から5件を追加し、15件の見込みとしました。)

○教育関係団体・大会参加助成費

200万円の追加

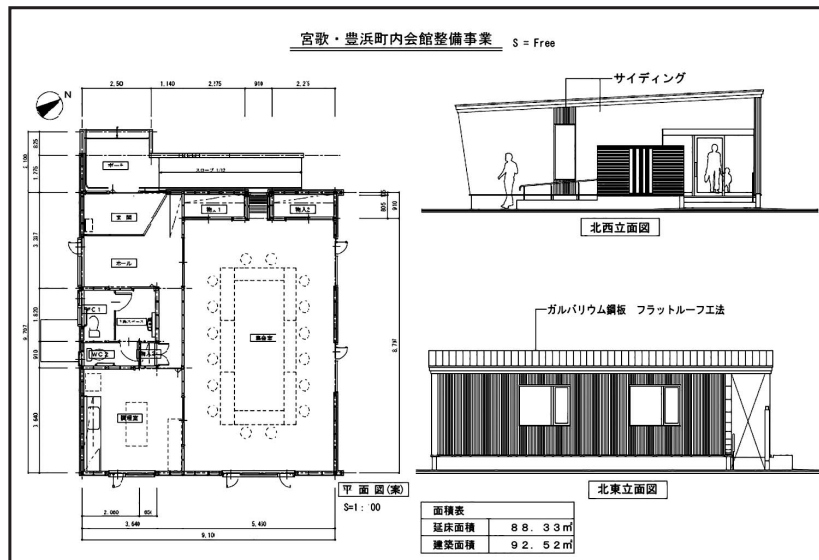
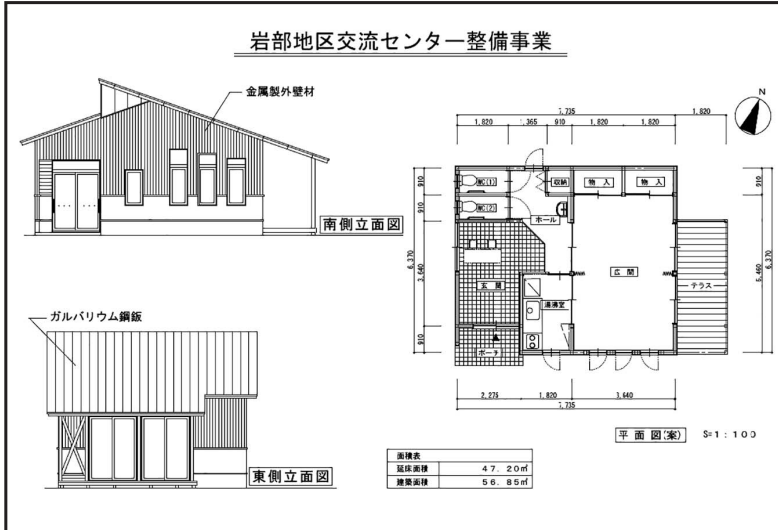
第69回北海道中学校軟式野球大会で全道優勝した福島・松前中学校チームが全国大会に出場する大会参加費の助成金を追加補正しました。

○繰出金

258万4千円の追加

町立国民健康保険診療所会計へ医師用住宅建設工事費の繰出金として追加補正しました。

○ラジオ公開番組事業業務委託料
286万2千円の追加
敬老会に合わせてHBCラジオの公開番組録音を実施する委託料を追加補正しました。



認定こども園の人的体制は

計画的な人材確保に努めたい

【木村 隆議員】

当町の認定こども園は、平成25年度から、保育型で新たなスタートを切った。

28年度からは、子育ての負担軽減として、保育料の無償化が行われ、25年度末で42名の児童が現在は64名と増加しており、無償化の影響と推察される。

利用世帯が多くなっても、充実した施設で、安心して預けられる着眼点は常に求められる。

①保育士の確保②臨職給与の改善③保育補助員の採用④ご飯の提供⑤おむつの持ち帰りの廃止、について見解を伺いたい。



木村 隆 議員

【鳴海青春町長】

保育士の確保は、職員定員適正化計画を基本に採用し、年齢構成や経験年数を踏まえ、適正配置に努めている。

臨時職員の給与は、月額から月額へ改善し、今年度は期末手当を増額改善している。

今後は、会計年度任用職員制度の推移を見ながら対応したい。

保育補助員は、代替保育士が不足しているので、計画的な人材確保に努めたい。

ご飯の提供は、3歳児以上の完全給食は可能だが、園の方針として、ご飯の持参を継続していきたい。

おむつの持ち帰りは、ゴミ収集の頻度・数量、長期保存が可能なスペースの確保や容器等の問題もあり、従来の方法の継続を考えている。

災害に対する総点検を

災害のない町づくりに努める

【熊野茂夫議員】

東日本大震災を機に、地震や津波に対する備えに、福島町防災計画が作成され現在に至っている。

胆振東部地震では、地震被害と同時にライフラインの機能が不能となり、物流が滞り、道内産業に大きな影響を及ぼした。

ここ数年の災害では、大雨や集中豪雨による大規模な水害や地滑りが全国で頻発している。

地震・津波、水害・地滑りなどの対策を検証し、総点検されてはどうか。



熊野 茂夫 議員

【鳴海青春町長】

町民の生命・財産を災害から保護するため、昭和56年に防災計画を策定し、災害予防、応急対策・災害復旧等を定め、平成3年・12年・27年に計画を見直してきた。

地震による津波浸水の見直し、急傾斜地や土石流危険区域調査に基づく、土砂災害警戒区域の指定など、防災計画の見直しが必要であることから、今後、過去の災害内容等の検証も含め対応していく。

災害時には、町民自らの対応も重要であり、防災訓練の実施や日々の防災意識の向上を図ることが大切と考えており、安心して安全な生活ができるよう、災害のない町づくりに努める。

デマンドバスの運行について

利用者ニーズの把握に努め運行

【杉村志朗議員】

当町では、千軒地区を除く福島町全域をデマンドバスが運行している。

経路としては、岩部から吉岡間を1日5回、平日運行しており、利用者には大変喜ばれている。

年末年始休業は止むを得ないが、土曜日の診察や日曜日の買い物などに運行を望む声も相当あるが、利用状況はどうか？

隣のデマンドバスは百円だが、当町では料金改定を考えているのか？岩部海岸クルーズへの利用の考え方を伺う。



杉村 志朗 議員

【鳴海清春町長】

デマンドバスの運行は、公共交通事業者、利用者、行政などで組織する「福島町地域公共交通確保維持改善協議会」で、運行状況の検証、運行計画等を協議し、承認を得て運行している。

休日運行は、アンケート調査でも少数で、現状維持が妥当であり、利用料の設定も、調査結果から一定の理解が得られている。

利用状況は、年々増加していたが、去年は天候の悪い日が続き減少したと分析している。

今後も、アンケート調査など利用者ニーズに対応しながら運行していきたい。

岩部クルーズ事業については、まず、乗船される方のニーズ把握に努めたい。

道立福島商業高校の海外研修を

実施に向けて協議を進める

【平沼昌平議員】

当町では、小中学校にALTを配置し、英会話能力の向上を目指している。

生の英語に触れることで、文化や、価値観、考え方の違いを理解させ、多面的・多角的なモノの見方や考え方ができ、相手国の良さを認めるとともに、自分の故郷の良さをとらえることもできる。

福島商業高校の生徒に、英語圏での海外研修や実習を当町として提案してはどうか。国際協調・協力できる人材づくりが可能と思うが、考え方を伺う。



平沼 昌平 議員

【鳴海清春町長】

将来の国際社会に対応できる人材育成の一環として、必要性を認識しており、教育委員会と高校との協議を踏まえ、早い時期の実現に向けて、支援してまいりたい。

【前田勝広教育長】

高校、生徒・保護者の意見も聞きながら、実施に向けて協議を進めたい。

小学校段階においては、外国語に慣れ親しみ、学ぶことのできる指導体制の整備が重要であり、中学校では、日頃から英会話に繰り返し挑戦できる機会の拡充が必要と考えている。中学校の英語教科は、専科教員1名、指導工夫改善加配教員1名、ALT（英語指導助手）1名の手厚い指導体制で、基本学習と、使える英語力の習得を重点に指導をしている。

新たな養殖事業の検討を

関係機関と連携を図り進める

【平沼昌平議員】

クロマグロなどの大型魚は小型魚より資源に余裕があるとの新聞報道もあり、水産庁もこれまで、国全体の枠を設けてはいたが、漁獲量の枠を超えた事はなかった。

しかし、クロマグロは来期から罰則付きの漁獲可能量（TAC）制度の対象となり、クロマグロ漁業者に将来的な不安が拡がっている。

当町では様々な養殖事業を試験的に行なってきたが、沿岸漁業者の生活基盤を安定化するためにも前浜での新たな養殖事業を検討するべきだと思うが如何か。

今まで様々な養殖試験を行った魚種の内容と事業計画にのらなかった理由について伺う。

【鳴海青春町長】

浦和漁港内でキタムラサキウニ蓄養試験事業、福島漁港防波堤の内側でアカモクの養殖試験事業を実施している。

過去には、漁業協同組合と共同で、アワビ・ヒラメの養殖試験、前浜でホタテ、カキ、アワビの養殖試験を実施した。民間企業によるサケ類の養殖も実施したが、二枚貝の貝毒や採算面、施設の耐久性などの問題で事業化に至っていない。

前浜では、10億円台の水揚げを確保しているが、その7割を養殖昆布が占めており、リスク回避のため、複合的な魚種による新たな養殖事業を漁業協同組合、関係機関と連携を図りながら協議を進めた。

議会ホームページから ライブ中継・過去の会議映像が視聴できます！

議会ホームページより議会のライブ中継や過去の会議映像が視聴できます。
下記のURLからアクセスし、ご覧ください。

○議会ホームページ

<http://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp/>

(リンク先：福島町ホームページ)

<http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/>

ホームページをご覧になり、ご感想、ご意見がございましたら下記のメールアドレスにお願いいたします。

○議会メールアドレス

gikai@town.fukushima.hokkaido.jp

福島町議会
Fukushima Town Council

議会の構成
議会改革の取組み
会議資料・映像
一般質問等答弁事項進捗状況調査
会議・行事予定
議会だより
議会用語集
関係例規集
行政視察の受入れ
監査委員例月出納検査報告書

本会議 委員会 議会だより 議会白書 ライブ配信

新着情報
ライブ配信を更新しました。
2018年11月7日
経済福祉常任委員会を更新しました。
2018年11月7日
経済福祉常任委員会を更新しました。
2018年11月7日

カレンダー／今日の予定
2018年11月

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	1	2	3
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
≪ 10月				12月 ≫		

系統団体等リンク集
全国町村議会議員会
北海道町村議会議員会
地方制度調査会
福島町議員ホームページ
瀬部幸基議員
川村明雄議員

全6会計を認定 総額57億8,744万6千円



平成29年度決算審査は、定例会9月会議で平野隆雄委員長ほか7名（議長を除く）の議員により構成する「決算審査特別委員会」を設置し、9月20日から21日までの2日間、一般会計を含む6会計について審議が行われ、各事務事業に対して質疑・意見交換が行われました。

主な内容は11頁から12頁に掲載しています。

平成29年度の各会計決算額

（単位：千円）

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計		4,373,005	4,258,264	114,741
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	906,797	810,720	96,077
	介護保険特別会計 （保険事業勘定）	584,011	535,834	48,177
	介護保険特別会計 （サービス事業勘定）	1,354	1,354	0
	後期高齢者医療特別会計	64,199	64,107	92
	浄化槽整備特別会計	30,530	30,530	0
	水道事業会計	111,141	86,637	24,504

■総務費

問 ふるさと応援基金は、寄付される方の思いが込められている。支出に当たっての方向性を今一度精査する必要があるのでは。

（熊野茂夫議員）

■答

支出に当たっては、まちづくり推進会議に諮り、承認を得たものに活用する。今回は歴史図書に活用するが、高校など教育分野の活用が多い。今後、産業やまちづくりなど、団体にPRしながら対応していきたい。

■農林水産業費

■問

昨年、漁組理事との懇談会で、ナマコ稚仔潜水調査の結果、残存率が非常に良く今後に期待が高まるとの発言があった。状況を教えてください。

（花田勇議員）

■答

開発局が、白符漁港でナマコ放流後の追跡調査とDNA調査を実施している。

漁組で独自に生産している稚ナマコについては、まだ安定した生産はできていないが、福島・白符・吉岡に分けて放流している。



ナマコ稚仔

■商工費

問

両記念館だけでは、年々入込客が減って行く。過去にも実施例はあるが、PR活動で誘客を図る考え方は？

(川村明雄議員)

答

体験観光も組み合わせ、地方創生事業のプロモーション活動プログラムの中にPR活動を入れていきたい。

■土木費

問

春先の町道舗装がだんだん遅くなってきたいると思う。どのような発注をしているのか？

(木村隆議員)

答

今年は雪が多く、早め発注し、早めの施工をお願いしたが、国道の悪いところから、舗装業者が手がけなければならぬ状況があった。

■消防費

問

胆振の地震の影響で福島町でも停電の影響を受けたが、町で以前配布していた「非常用持ち出し袋」に入っていたラジオが情報入手の手法となり役だったと多くの人が聞いた。今一度町民周知に努めていただきたい。

(佐藤孝男議員)

答

周知に努めるとともに、消耗しているものもあると思うので、日赤福島分区分・町内会とも協議して補充することも考えていきたい。

■教育費

問

町民プールは、昨年度から無料となっているが、利用状況はどうなっているか？

(杉村志朗議員)

答

平成29年度は、前年対比287人増の3,311人の利用があった。町内外の率では、町内88%、町外12%となっている。

■水道事業

問

近頃はピンポイントで豪雨が降るが、水源地の管理は支障なくできているか？

(平沼昌平議員)

答

大雨が予想される時は、職員が浄水場に出向きます。通常は、役場にある中央監視装置で管理している。

■総括質疑

問

国道や道々は予算縮少を理由に、草で荒れ放題の道路や花壇がある。状況によって、町で手をかけることだが、国や道に対して町に管理を任せるよう声を上げてはどうか？

(溝部幸基議長)

答

先行的にやらせていたみたいと、管理者と協議し、町単独でやっている部分がある。以前、管理者の違う道路が交差する部分の除雪について「町に任せてもらえば、合理的に出来る。」と話をした経緯もある。協議の場があるので、積極的に声を上げていきたい。



非常用持出袋





平成29年度 議会費の使われ方

(単位：千円)

区 分	H28	H29	平成29年度の支出概要
報 酬	22,803	24,516	・歳費24,456 【月額歳費】 - 議長278、副議長222、委員長201、議員187 ・諮問会議委員報酬60
給 料	12,123	11,900	・事務局職員 3 名分
手 当 等	15,622	16,159	・議員期末手当10,312 【議長1,407、副議長1,123、委員長（3人）3,051 - 議員（5人）4,731】 ・職員期末手当等5,847
共 済 費	15,464	15,490	・議員共済等負担金9,202、職員共済費5,715 ・臨時職員社会保険料等573
賃 金	1,922	1,945	・臨時職員賃金（1名）
報 償 費	0	0	・専門的審査、調査謝金
旅 費	2,317	1,303	・普通旅費626 ・視察研修旅費336 ・職員旅費141 ・同行旅費123 ・委員旅費67 ・委員費用弁償10
交 際 費	179	123	・祝儀33、土産29、香典50、供花14、後援18 - 協賛金18、会費18
需 用 費	858	759	・消耗品費139 ・追録代10 ・購読料22 ・食糧費3 ・議会だより印刷製本費585
使 用 料 ・ 賃 借 料	161	162	・インターネットサーバースペース使用料40 ・議会インターネット中継回線利用料122
負担金・補助・ 交 付 金	1,296	1,469	・管内議長会等350 ・四町議員協議会85 ・議員公務災害補償組合負担金等69 ・政務活動費965
償還金・利子・ 割 引 料	1,117	4,335	・議会中継システム譲受代金年賦金 1,107 ・議場等音響設備譲受代金年賦金 3,228
合 計	73,862	78,161	※事務局職員 3 名分の給料等は「職員給与費」に計上されているため、議会費の決算額とは一致しません。

各議案の審議結果

- ・賛成が○、反対は×と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議案名	議員名	杉村志朗	川村明雄	花田勇	木村隆	平沼昌平	佐藤孝男	熊野茂夫	平野隆雄	審査結果
8月会議 (8/8)	19	町道福島月崎幹線整備工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	20	財産（防犯灯LED化照明導入（1））の取得		○	○	○	○	○	○	○	○	
	21	財産（防犯灯LED化照明導入（2））の取得		○	○	○	○	○	○	○	○	
	22	財産（防犯灯LED化照明導入（3））の取得		○	○	○	○	○	○	○	○	
	23	財産（ガラスポート）の取得		○	○	○	○	○	○	○	○	
	24	平成30年度一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	
	25	平成30年度国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	
9月会議 (9/19 ～25)	26	家庭的保育事業等の設備・運営に関する基準を定める条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	27	第5次総合計画の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	
	28	平成30年度一般会計補正予算（第5号）		○	○	○	○	○	○	○	○	
	29	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	
	30	平成30年度介護保険特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	
	31	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	
	32	平成30年度浄化槽整備特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	
	33	平成30年度国民健康保険診療所特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	
	34	平成30年度水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定1	平成29年度一般会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定2	平成29年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定3	平成29年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定4	平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定5	平成29年度浄化槽整備特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定6	平成29年度水道事業会計利益の処分・決算の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	
	同意1	教育委員会委員の任命		○	○	○	○	○	○	○	○	
	報告6	一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告		※採決はありません。								報告 済み
	報告7	専決処分した事件の報告										
	報告8	平成29年度財政健全化判断比率の報告										
	報告9	平成29年度一般会計継続費精算報告										
	報告10	平成29年度教育に関する事務の管理・執行状況の点検・評価に関する報告										

会議名	議案番号	議 案 名	議 員 名								審査結果
			杉村志朗	川村明雄	花田勇	木村隆	平沼昌平	佐藤孝男	熊野茂夫	平野隆雄	
9月会議 (9/19～25)	発委3	「これからの高校づくりに関する指針」を見直し、機械的な高校統廃合を行わないことを求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	発委4	「国の責任による35人以下学級の前進」を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発委5	地方公務員法・地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発委6	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発委7	障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発委8	臓器移植の環境整備を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	

文書質問

福島町各河川の災害に対する状況調査の必要性はないか

質問者：川村 明雄 議員

【質問】

7月発生の豪雨では道内でも河川の氾濫による大きな被害が発生しました。

当町では大きな被害までに至りませんでしたが、大雨の度に漁業被害等への心配もあります。

町内の各河川には、川床の上昇や、河川に立木が自然成長しているところもあります。特に福島川のオリカナイ橋付近は、川の中の樹木が森のようになっているところもあります。

大雨の時は上流からの流木も散見され、災害に繋がらないかと心配になります。

樹木の間引きや伐採が必要か否か、町内の河川ごとに河川管理機関等に調査を要望しては如何でしょうか。



オリカナイ橋河畔

【回答】

1 福島川では、北海道渡島総合振興局函館建設管理部において河川断面確保のため、昨年も福島大橋から下流において樹木伐採・土砂除去を実施しております。

白符川についても、今年度、河口付近の樹木伐採を実施しております。

福島川上流部も同様に計画されていますが、予算確保が厳しく、優先度の高い事業については、維持管理予算の範囲内で対応しており、町内河川の樹木伐採・土砂除去について、北海道に引き続き要望してまいります。

2 町内の河川ごとの調査につきましては、北海道の管理河川をパトロールにより現状把握に努めており、今後も北海道と情報を密にしながら河川管理に努めてまいります。

文書質問

こども園の現状確認

質問者：木村 隆 議員

【質問】

- 平成25年から、吉岡稚園が閉園となり認定こども園がスタートした。
25年度からの年度末の園児数と30年度は7月末の児童数をお知らせください。（3才児以上は短時間と長時間に分けて願います。）
- 週3回、3才児以上の家庭では、ご飯（白米）を持ってくるようになっていたが、ご飯を3才児以上でも提供できない理由。
食事時間にお茶を提供できない理由。（昨年夏の給食試食会あたりから始まったと聞いているが、昨年ひよこ組の世帯や今年度から入園した世帯は経緯が分からない。）
4月の保護者会で園長から麦茶を給食で飲ませたい方は持たせて良いとの事だが、早い家庭でいつから持たせているのか。進級の世帯で昨年から冬場にかぎらず毎日持たせている家庭もあるのか。
- こども園臨職の勤続年数をお知らせください。（保育園時代からを含む）
こども園の人材確保を含む運営改善（仮）の一般質問の準備のためと考えて頂きたい。

【回答】

- 平成25年度から平成29年度と、30年度7月現在の園児数については、下表のとおりとなっております。

年度	未満児	3歳児		4歳児		5歳児		計		
		保育	教育	保育	教育	保育	教育	保育	教育	合計
25	5	10	5	8	5	8	1	31	11	42
26	8	4	7	9	6	8	4	29	17	46
27	9	4	2	4	7	11	4	28	13	41
28	17	6	8	6	0	7	5	36	13	49
29	14	11	6	7	7	5	4	37	17	54
30	18	9	7	9	6	8	7	44	20	64

- 3歳以上児における給食時の主食（白米）持参とお茶の持参について
 - 主食（白米）の持参について
認定こども園の運営方針の一環として、できるだけ「我が子に手をかけて愛情をもって育ててほしい」という方針のもと、保護者にご飯を持たせていただくことを開園当初から続けております。
 - 食事時間のお茶の提供等について
全園児へのお茶提供は、施設・人員の関係から提供しておりません。
なお、保護者との懇談等を通じて説明しており、各家庭で持参していただくことでご理解いただいております。
 - 園児のお茶持参について
お茶の持参は、平均で7月は10名、8月上旬は24名、8月後半は9名程度、9月以降は1、2名となっております。夏場はほぼ毎日持参しております、冬場の1月以降には持参しておりません。
給食の関係につきましては、これまでと同様に保護者会と意見交換をしながら進めてまいります。
- こども園の臨職の勤続年数について
臨時職員個々の勤務年数については、福島町個人保護条例第16条第1項第9号に規定する人事管理に関する個人情報に該当するため回答を控えさせていただきます。

胆振東部地震に係る町の対応について

質問者：川村 明雄 議員

【質問】

9月6日未明に発生した胆振東部地震は、道内初の震度7という強震でありました。震災で犠牲となられた方々に対しお悔やみ申し上げます。

町長を先頭にした各職員の真摯な対応に町民の安心安全が保たれたものと思います。

そんな中で次のような住民の言葉がありました。

1. 地震発生時の震源地・震度などの情報はいち早く放送してほしい。
2. 電力会社による停電の放送も聴き取れなかった。災害時の情報は防災無線で周知しても良いと思う。
3. 水道水が止まるとの情報が流布し迷わされた。大丈夫ならば放送で周知してほしい。
4. 情報の取得や連絡手段はスマホなどに頼っている。充電サービス対応はライフラインの確保に欠かせない。

(最初の対応は適切でない面も見られたが、住民周知による実施は歓迎される結果になった。)

5. 支援ハウス入所者で自分で食料を調達している方々への対応はどのようにすべきなのか。
(販売車の巡回が不可能になった。)
6. 福祉施設への自家用発電機の配備の必要性については如何な処理をすべきか。
(一部自家用発電機による対応なども歓迎された。)
7. 電気の回復後、町民プールも直ぐオープンになったが節電喚起の中で、どのように対応すべきであったか。(夜間の利用制限は、夜間しか利用されない方には不便をかけたが、理解して頂くことに尽きと思う。)
8. 町立診療所は医師の不在で休診されていたが、特に支障は出なかったか。
9月1日から平日の診療は午後3時までとの町広報の記事は誤謬と判明したが、校正、確認体制の構築はいかにあるべきか。
9. 火山列島であり、大陸プレートに乗っている日本列島は、定期的に強烈な地震に遭遇する事は未来とも同じと思いますが、当町の急峻な地形の下に居住している方々への留意はどうあるべきか。
以上のように住民は不測の事態への対応など、情報などの早期把握、正確無比な伝達などを求めています。どのように対応されたのかを含め対策をお伺い致します。

【回答】

1. 地震による当町の震度「2」、津波の発生はないこと、停電が続いていることから、落ち着いて行動するよう第1報を午前3時53分に防災無線で周知し、その後も町民の生活に必要な情報を最優先に随時提供しました。(交差点の通行注意、ごみ収集中止、自主避難所開設等)
2. 電力会社の広報車両による町民周知とともに、町では、電力会社から詳細な情報は得られないことから、「全道広い地域で停電している」旨の周知を防災無線により行いました。
3. 水道水の安定供給については、震災当日に、防災無線で3回周知しました。
4. 携帯電話は、重要なライフラインであることから、充電コーナー設置のため非常用電源を優先的に振り向け、民間事業者の協力もいただき、震災当日から役場・吉岡支所に設け、防災無線で周知しました。
5. 支援ハウス入所者の食事は、希望により陽光園から食事提供サービスを受けることが可能ですが、一部、自分で食料を調達している方は、基本的に入居者が対応することとなっております。
停電が長時間に亘ることが想定されたことから、9月6日には保健師2名を派遣し、冷蔵庫内の食料品等の状況確認し、必要な方には防災用パンを配布させて頂きました。
6. 福祉施設への自家用発電機の配備は、公共施設で保有している発電機の充実、民間企業からのレンタルや連携等も含め、今後、検討して参ります。
7. 町民プールについては、9月6日の停電解消により、翌日午後5時までの開館としました。町としては、学校も臨時休校となったことから、児童生徒の活動場所づくりとして総合体育館と合わせて利用してほしいとの思いから開館としました。
なお、9月11日から14日までは午後5時までの開館とし、15日、16日は臨時休館、19日から通常どおり開館しております。
8. 町立国保診療所は、9月6日に院長が出張のため臨時休診となる旨事前周知していたことから、支障はありませんでしたが、冷蔵の必要なワクチン等は、役場内の冷蔵庫で一時保管をして対応しました。また、9月7日は、停電中でしたが、できる範囲で診療を行ってまいりました。
広報誌の校正については、広報誌編集後、原課での校正を行い、広報編集担当課でも校正し、最終稿となるまでに4回程度の校正を行っております。
広報誌の発行にあたっては、間違いの無いことは勿論であります。町民に分かりやすく読んでいただけるよう編集に努めてまいります。
9. 今後の非常時対応については、町広報等により、住んでいる地域の自然災害発生時の区域や避難路の場所、非常用持出品の点検など、日常における災害への備えを繰返し周知し、住民の防災意識を醸成することが重要であると考えております。

議会基本条例へ新たな取組も追加！

—（議会諮問会議答申）—



答申書の手交

平成30年度の議会基本条例諮問会議は、調査審議を求める2項目と確認を求める3項目について諮問され、3回（5月14日、8月6日、10月9日）の諮問会議を経て、11月1日に答申書が村山会長より溝部議長に手渡されました。

○諮問された5項目の答申内容は次のとおりです。

1. 調査審議を求める事項

(1) 議会評価（平成29年度分）の検討

議会基本条例第17条第1項の規定に基づき、1年ごとに実施し町民に公表している議会評価については、「これまでの諮問会議の答申を反映した評価内容等になっており、概ね適正に行われていると考える。今後も適正な評価となるよう期待する。」との答申を受けました。

(2) 議会基本条例全体の検討

議会基本条例第28条の規定に基づく、基本条例の見直しについては、条例施行後10年を迎え、新たな議会改革の取組条文の追加、現状に即した文言の整理、削除等、各条文の改正についての答申を受けました。

2. 確認を求める事項

(1) 議会基本条例の見直し検討による行動計画の確認について

平成29年度の取り組み状況を確認していただき2項目についての意見がありました。

① 整理No.4 広報・広聴活動の充実

懇談会等で町民から出された意見をどう生かしているのか、出された意見は、町側へ伝えるだけでなく、一般質問すべきではないか。

② 整理No.9 一般質問の充実

複数の議員が同じような内容の一般質問を行っていたことがあるが、質問の内容が重複しないような検討が必要ではないか。

(2) 議会費の標準額の見直しについて

平成24年度に決定した「議会費の標準額」は、5年が経過し算定根拠の見直しや新たな経費の発生などから、現状に合わせた標準額の見直しを行い、内容について確認をいただき標準額を決定しました。

※新たな「議会費の標準額」は、次のページに掲載しています。

議会費の標準額 4,355千円

■「標準とすべき額」は、平成24年度の決定事項に基づき、平成30年度当初予算の議会費を5区分に分類し、比較的裁量に幅のある費目（区分C・D）について、適正な議会活動を維持するための必要最小限の経費としました。

施設投資的経費については、経常的な経費でないため、新たな区分Eとし、対象費目としないこととしました。

- ・区分A：条例等があり算定根拠もあるもの。
- ・区分B：条例等はあるが算定基準がないもの。
- ・区分C：条例等はないが算定根拠があるもの。
- ・区分D：条例等はなく算定基準もないもの。
- ・区分E：施設投資的経費。

平成24年度標準額 3,184千円

平成30年度標準額 4,355千円

増 減 1,171千円の増

(主な増：政務活動費540・議会だより233)

【平成30年度 議会費の分類】 当初予算総額79,277千円

《支出根拠＝条例等》

ある

(単位：千円)

(A) 条例等があり算定根拠もあるもの。

①議員歳費等	43,629
②職員給与費	23,630
③諮問会議委員報酬等	87
④管内議長会等負担金	359
⑤議員公務災害補償組合負担金	69
⑥四町議員連絡協議会負担金	115
⑦臨時職員賃金	2,706
計	70,595

(B) 条例等はあるが算定基準がないもの。

- ・該当するものはありません。

《算定基準》

ある

ない

(C) 条例等はないが算定根拠があるもの。

①政務活動費	1,200
②委員旅費	101
③普通旅費	707
④視察研修旅費	573
⑤職員旅費	160
⑥同行旅費	107
計	2,848

(D) 条例等はなく算定基準もないもの。

①専門的審査・調査謝金	100
②交際費	200
③消耗品費	300
④追録代	11
⑤購読料	33
⑥食糧費	15
⑦議会だより印刷製本費	686
⑧インターネットサーバースペース使用料	40
⑨議会インターネット中継回線使用料	122
計	1,507

ない

(E) 施設投資経費（対象外経費）。

①議会中継システム更新事業費	1,106
②議場等音響設備更新事業費	3,221
計	4,327

標準とすべき額 (C) + (D) =

4,355千円

町立診療所の設置に関する調査特別委員会

【調査概要】 H30.2.20(第1回)・H30.4.13開催(第2回)・H30.8.8開催(第3回)

平成30年2月20日に町立診療所の設置・運営内容等について集中的に調査するため、特別委員会を設置しました。今般、福島町国民健康保険診療所医師住宅の実施設計、建設工事費等の概算額がまとまり、町より示されましたので、開業後、1ヶ月の受診状況と併せて確認・調査しました。

【論点と意見】最終報告

1. 医師住宅建設について

医師住宅の建設については、建設場所、住宅の規模等について、理解しますが、建設費の内容を検証する資料が少なく、適正な建設費なのか疑義が生じ、「町民へわかりやすく」の視点が欠けていることを指摘する。

2. 診療所の受診状況について

開院1ヶ月間の受診状況は、当初見込みを大きく下回っています。町長は、1年間経過を見ていくとのことでしたが、委員からは、受診者の増加に向けた様々な意見が出され、対応策の検討が求められた。

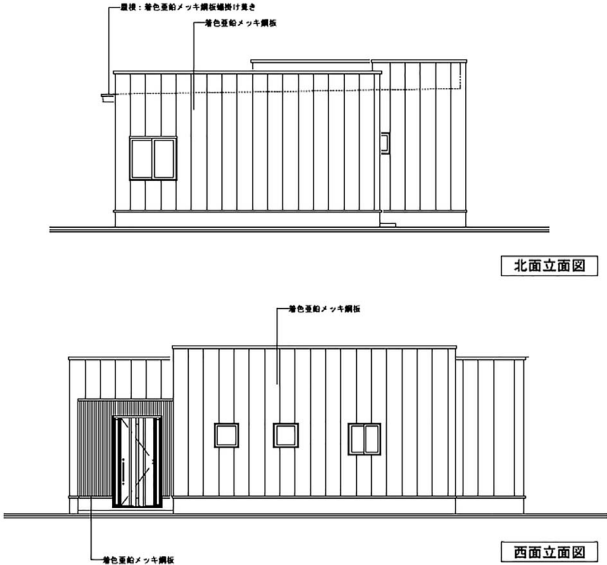
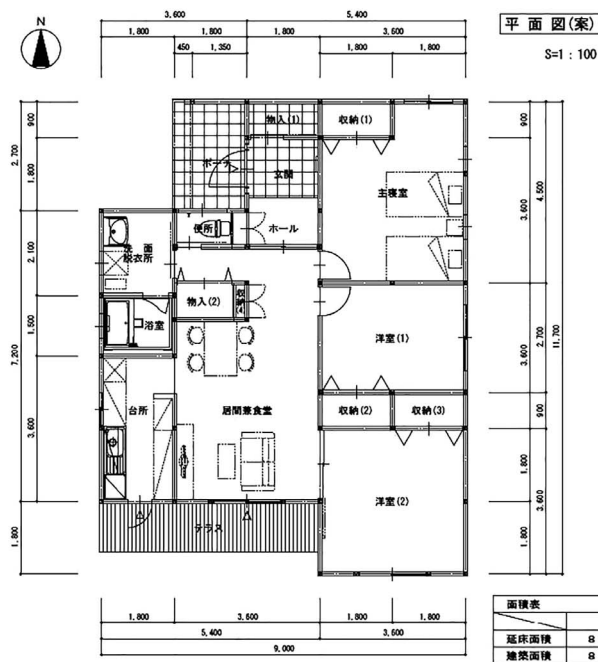
○調査特別委員会調査結果

前2回の調査意見は、既に中間報告として伝えており、6月に開院し医師住宅の建設が始まることから、「町営診療所の設置、運営等」の基本的な審議は、所期の目的を達成したと判断し、今回で調査を終了する。

町の人口減少が続いているなかで、今後、如何にして町立診療所を安定して運営して行くか、現状の町内医療機関をどう維持していくかが課題となることから、町内外医療機関等の利用動向把握に努め利用者増の対策を講じるなど、町民に信頼される診療所として運営することを期待する。

町立診療所整備事業（福島町国保診療所医師用住宅） S = Free

町立診療所整備事業（福島町国保診療所医師用住宅）



がんばる地元企業等応援 条例に基づく助成金の交付 状況・実績について

【調査概要】 H30.7.27開催

平成29年度に施行された地元企業等応援条例に基づく助成金の交付事業について、その内容を確認・調査したものです。

【論点と意見】

想定を超える大きな成果、より使いやすい方策へ見直しを！

○助成金の交付状況について

当初の想定を超える助成金の交付となっており、町内経済の活性化に非常に効果があったと考えられますが、4項目の改善策等を検討することとの調査結果となりました。

- ① 農業・漁業での投資のうち、農機具や中古船の個人売買は、価格が適正かの判断が難しいため、取引価格の正当性を担保する第三者の情報と何らかのルール作りが必要である。
- ② リース契約の助成がなかった理由として、1件当たり1千万円の対象費用が高すぎて現状と合わないことが考えられるので、再度、交付対象要件を見直す検討をすべきである。
- ③ 町内で調達可能な設備のうち約3割が町外発注となっているので、地元経済の循環の観点から町内発注を促す制度の趣旨説明を徹底する対応や、町外発注の補助率を下げるなどの検討をすべきである。
- ④ 外国人技能実習生(雇用奨励金対象)については、法律が改正され、滞在期間が延長となる予定であり、国の動向を見ながら条例の見直し検討が必要である。

○業種別の助成金交付状況（平成29年度実績）

（単位：件、円）

業 種	申請 件数	投 資 額	うち町内 経済循環額	助 成 額
農 業	6	4,815,304	1,766,196	2,406,000
漁 業	55	107,487,718	56,714,116	49,993,000
水 産 加 工 業	5	19,267,673	10,971,869	9,570,000
そ の 他 の 製 造 業	5	36,620,418	22,680,000	9,281,000
建設業・電気工事業	18	125,164,561	10,132,936	33,012,000
卸 売 業 ・ 小 売 業	10	23,658,755	1,293,145	10,756,000
宿 泊 業 ・ 飲 食 業	3	1,762,992	1,762,992	879,000
不 動 産 賃 貸 業	4	34,215,672	33,978,072	10,536,000
その他サービス業	12	26,613,876	3,549,589	12,090,000
合 計	118	379,606,969	142,848,915	138,523,000

水産加工場が排出するイカ 残滓処理について

【調査概要】 H30.7.27開催

イカ残滓処理の現状を町より提示された資料に基づき内容を確認・調査したものです。

【論点と意見】

イカ残滓処理費用に対する助成は理解する！

○水産加工業者への助成について

近年排出されるイカ残滓が極端に減少したため、処理業者・運搬業者の経営が悪化し、町内水産加工業者に対し、処理料の値上げや運賃の最低保証を求める要望が示されたことから、町が運賃の最低保証額の2分の1を助成するとした対応については、妥当であると理解する。

検討を要する事項としては、処理業者を利用していない水産加工業者と不公平が生じないよう進める必要がある。

※イカ残滓とは、イカの内臓（ゴロ）です。



裁割（腹をひらき、ゴロ、目玉、トンビを除去）

アワビ陸上養殖施設の状況 について

【調査概要】 H30.7.27開催

今年度から本格稼働したアワビ陸上養殖施設で設備の不具合により稚貝が大量にへい死したため、町より提示された資料に基づき内容を確認・調査したものです。

【論点と意見】

緊急時対応マニュアル等の整備を！

○事故発生時の対応について

6月27日の低気圧通過に伴う時化により福島漁港内の取水口に大量の海藻等が流入し、取水口が詰まり給水が停止、アワビ稚貝が大量にへい死したとのことでしたが、4月11日に開催した本委員会で「海水の確保、取水トラブル等の緊急時への対応に万全を期すこと」と意見を出しており、心配した事故が起きる結果となったことは、危機管理対応に問題があったと言わざるを得ない。

想定外であったとしても、アワビ陸上養殖は、町長の公約の目玉であり、緊急時対応マニュアル等の整備や関係業者と連携を密にし、2重・3重の対応が取れるよう、常に緊張感をもって事業を進めるよう強く反省を求める。



海藻等の流入防止対策後の取水口

「第2青函トンネル構想」 実現に向けた取組について

【論点と意見】

「第2青函トンネルを実現する会」の設立は理解する！

○「実現する会」の設立にあたって

「実現する会」の設立には、理解するとの委員会意見となりましたが、次の4項目について検討されるよう意見が出された。

- ① 町の発展の視点を入れた設立目的を定め、第2青函トンネルを使っていかに町を発展させるかの構想をもって進められたい。
- ② 1～2年先までのタイムスケジュールを設定し、積極的に情報発信し、町民・道民の気運を盛り上げる検討をされたい。
- ③ 「設立準備会」「実現する会」の構成員は、広く町民に参加を呼び掛ける検討をされたい。
- ④ 「実現する会」の設立と並行して、道議会等の関係機関への働きかけや、青森県外ヶ浜町への働きかけを早急に進める必要があると思慮する。

【調査概要】 H30.9.4開催

「第2青函トンネル構想」実現に向けた取組に係る資料が示されたことから内容を確認・調査したものです。



北海道新幹線

観光事業の状況と推進体制について

【論点と意見】

全観光事業の総合的な検証を！



観光資源としての岩部海岸 耳岩

【調査概要】 H30.9.4開催

観光事業を成功させるための、推進体制と方向性を再確認するため、町より提示された資料に基づき内容を確認・調査したものです。

これからの観光事業の推進には、現状を分析し、関係団体との連携強化が欠かせないとの委員会意見となりました。

○観光事業の現状について

現在実施している全観光事業の総合的な検証（分析）を行い、事業の継続、関係団体等の役割分担を再確認する必要があると思慮する。

○行政、観光協会とまちづくり工房について

資料では福島町の観光を担っている団体の人的体制について課題があるとしている。基本的には、団体自ら検討すべきであるが、当町の観光事業の実態として、単独での体制確保は困難であり、早期に町の方針を示し、体制の充実を図るよう指導・助言されたい。

執行方針の取り組み状況を調査！

常任委員会レポート

所管する所管関係施設・事業等の課題や問題点を把握するため町内視察を実施しました。平成30年度の町執行方針について、それぞれの委員会で所管する施策に対して取り組み状況の確認を行いました。主な調査意見は以下のとおりです。

【調査概要】

H30.10.29 町内視察
H29.10.30 執行方針確認

【所管関係施設・事業等の視察】

・岩部地区交流センター整備事業

岩部地区の観光拠点として（青の洞窟クルージング）利用されることが想定され、天候等によっては町外観光客の宿泊も考えられる。

町内会館として利用されるため、町内会の利用に不便を来さないよう慎重に検討されたい。

総務教育

〈視察施設等〉

- ・町内会館（宮歌・豊浜）整備事業
- ・福島町チロップ館
- ・岩部地区交流センター整備事業
- ・福島町ファミリースポーツ公園
パークゴルフ場



岩部地区交流センター

【執行方針の取り組み状況の確認】

・産学官の連携強化について

町が連携している3大学のうち東京農大が各学校への出前講座を行っているが他大学についても得意分野の出前講座を検討してはどうか。

各大学への共通事案としてアワビ陸上養殖の調査研究を委託しているが、各大学を交えて情報共有する場の設定を検討されたい。

・生涯学習事業の充実について

北海道から3年の任期で派遣された社会教育主事が諸般の事情で2年たたずに派遣終了となっている。生涯学習事業の推進に支障をきたしていることは明白であり、北海道教育局に経験豊かな社会教育主事を派遣してもらえるよう強く要望されたい。

・防災計画の見直しについて

国の太平洋側設計津波水位の見直しに併せて防災計画の見直しを行うとしているが、当町の津波被害は、日本海側からの影響が大きいと思われるので既に出ている日本海側の津波データをベースに行うべきと考えらる。

今回の地震による停電の発生を教訓に、生活館への太陽光発電による非常灯の設置、家庭用発電機等の検討が必要。

・高等学校存続対策について

来年度入学見込み者数20人は厳しいとのことだが、引き続き学校PRパンフレットの配布等存続対策の実践を徹底されたい。

存続対策に特化した「給付型奨学金」の検討とあるが、存続対策だけでなく町の定住対策として町内出身者まで広く対応すべきとの議論もされており、検討は慎重に願いたい。

経済福祉

【調査概要】

H30.10.31 町内視察
H29.11. 2 執行方針確認

〈視察施設等〉

- ・合葬式墓地整備事業
- ・第3種福島漁港整備事業
- ・アワビ陸上養殖加工施設海水取水口改良工事
- ・町道蝦夷が沢線整備事業
- ・岩部浄水場排水池水位計更新事業
- ・町道福島月崎幹線整備事業
- ・町道公営住宅線歩道拡張事業
- ・丸山団地町営住宅（H30-A・B）建替事業

【所管関係施設・事業等の視察】

・丸山団地町営住宅建替事業

室内にはユニバーサルデザインを採用しているが、入口にスロープ等が無く高齢者、障がい者が入居した際の使用に多少不便があるように感じた。建設を進めるに当たっては、室内だけでなく広く住宅環境に対してもユニバーサルデザインの考えを検討すべき。



丸山団地町営住宅

【執行方針の取り組み状況の確認】

・アカモク生産・活用調査検討プロジェクトについて

これまでも様々な養殖事業の取り組みを行ってきたが、いつの間にか無くなってきた。アカモクについてはテレビ等でも見る機会があり注目されているので本気で取り組む価値があると考え。原料として出すだけでなく町内で加工し付加価値を付けるような企業を誘致するなど、雇用の場の確保、人口流出の抑制に結びつくような取り組みについて検討されたい。

・蝦夷アワビブランド化事業について

当初予定していたサイズのものが出来つつあり、今後、東京農業大学と産学官連携による加工品製造、マーケティングの委託を行うとしているが、海外産等との厳しい競争が予想されることから生産と並行してマーケティングをしっかりと行うべきであり、早急に対応するよう指摘する。

・森林組合再建計画について

人的支援を行う予定としていたが未だ決まっていない現状の体制に不安がある。町有林・民有林の実態把握も進んでいないことから、早急に対応するよう指摘する。

・有害鳥獣駆除対策について

人手不足からハンターに負担が掛かっている状況もあり、駆除後の処理に大変苦慮している。近年、エゾシカ等の出没が急増し、今後さらに負担が予想されることから、ハンターへの報酬等の見直し、処分に係る体制の構築等を検討する必要があると思慮する。

・横綱の里づくりへの取り組みについて

九重部屋の夏合宿が巡業等の日程により中止となり、時期をずらして行うことを検討しているとのことだが、異なる時期の受け入れは準備にも時間が掛かることから早めの調整をのぞむ。

議会による事務事業評価

町では、まちづくり基本条例に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、平成29年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、議会基本条例に基づく決算説明資料として議会に提出しています。

議会では、「議会による行政評価（事務事業評価）要綱」を定め、それぞれの事務事業について議会側の評価を示し、議会としてのチェック機能を強化するとともに、併せて翌年度の予算へ反映させることとしています。

全議員が1事業ずつ評価した結果・評価方法は次のとおりです。

◎議会の事務事業評価結果概要

1. 総務教育常任委員会の内容（H30.11.8開催）

総務教育常任委員会所管の41件の事務事業について、町の最終評価は、「現状にて事業を継続・拡充」とする「A」が40件、「事業の進め方の改善により継続」とする「B」が1件となっています。

議会の評価結果は、「十分評価できる」とした「◎」が4件、「概ね評価できる」とした「○」が37件となりました。

2. 経済福祉常任委員会の内容（H30.11.6開催）

経済福祉常任委員会所管の29件の事務事業について、町の最終評価は、「現状にて事業を継続・拡充」とする「A」が25件、「事業の進め方の改善により継続」とする「B」が2件、「事業の規模・内容等の見直し検討」とする「C」が1件、「事業の抜本的見直しを検討」とする「D」が1件、となっています。

議会の評価結果は、「十分評価できる」とした「◎」が2件、「概ね評価できる」とした「○」が21件、「やや不足している」とした「△」が6件となりました。

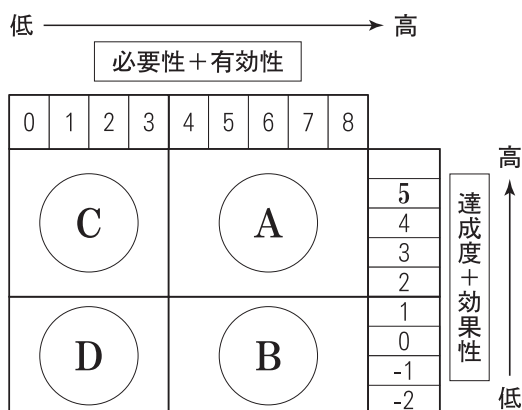
【議会の評価方法】

議会による行政評価（事務事業評価）要綱に基づき、全議員が各事務事業の内容を総合的に判断した4段階評価を行い、「議会の最終評価」と総合的な説明を加えて「議会評価」としています。

なお、平成27年度からは評価点数ではなく、行政で評価した内容と議員が認識している評価対象事業の内容を総合的に判断し、

「◎」十分評価できる 「○」概ね評価できる 「△」やや不足している 「▲」不足している
の4段階評価としています。

【町の評価表】



① 評価の分類

- A = 「現状にて事業を継続または拡充」
- B = 「事業の進め方の改善により継続」
- C = 「事業規模・内容等の見直しの検討」
- D = 「事業の抜本的見直しを検討」

② 評価表の見方

「必要性+有効性」の点数と「達成度+効果性」の点数が交差したところが評価となる。例えば、必要性+有効性が5点、達成度+効果が1点の事業は「B」の評価となります。

総務教育常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

(単位：千円)

事務事業名 (平成29年度事業費)	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.1 会議録調整費 2,519	臨時職員1名を雇用し会議録を作成している	5	2	A	A	A	A	◎	引き続き迅速な会議録作成を期待する。
No.2 情報公開費 773	議会だより発行、議会ホームページ運用経費ほか	5	3	A	A	A	A	◎	住民に興味を持って見てもらえるような工夫を期待する。
No.3 職員研修費 4,098	職員の研修計画に基づいた研修の実施	5	3	A	A	A	A	○	知識研修・接遇研修、専門的研修の質的向上を図り、メンタルヘルスの研修も検討願いたい。
No.4 車両管理費 7,166	公用車両の適正な管理	4	4	A	A	A	A	○	引き続き各車両の利用に当っては点検管理・清掃の徹底を図られたい。
No.5 交通安全対策費 2,962	町民に対しての交通安全啓発活動	5	3	A	A	A	A	○	指導員の高齢化に対応した体制と、効果的な啓発の工夫を図られたい。
No.6 町民運動対策費 (青少年外) 130	青少年問題協議会の開催、松前地区防犯協会への助成金の交付	6	2	A	A	A	A	○	全町的な運動展開になっていない。犯罪・非行防止のための情報発信に努めてもらいたい。
No.7 インターネット事業費 4,220	役場庁舎及び外部公共施設のインターネット環境の維持保全	4	3	A	A	A	A	○	引き続きセキュリティ対策に努め、インターネット利用拡大に向けた取り組みを期待する。
No.8 ホームページ管理費 430	ホームページを運用し町民等へ行政情報を発信する。	6	3	A	A	A	A	○	ホームページによる積極的な情報発信の強化に努められたい
No.9 生活館等管理費 1,020	町内15生活館等を適正に維持管理する	6	3	A	A	A	A	○	公共施設維持保全計画の基本方針に基づいた適切な判断を！
No.10 災害対策費 9,342	防災機器の整備、防災資材確保、防災訓練等、住民の安全な生活環境を守る	7	2	A	A	A	A	◎	戸別受信機の利用に支障をきたさないよう、メンテナンスの継続が必要。
No.11 町内会連合会助成費 315	福島町町内会連合会の活動を支援するための助成金の交付	5	2	A	A	A	A	○	住民参加を目指した住民活動の統一的な組織体制を検討されたい。
No.12 文書広報費 2,042	町広報紙の発行	5	4	A	A	A	A	○	町民にわかりやすい広報紙発行を。
No.13 町民運動対策費 (コミュニティ) 45	コミュニティ運動推進協議会への助成金の交付	6	2	A	A	B	B	○	全町的な運動展開は今後更に厳しくなってくると思う。しっかりとした方向性を持って検討されたい。
No.14 バス待合所管理費 1,834	バス待合所(5カ所)の維持管理	5	3	A	A	A	A	○	今後も利用者にとって快適な環境づくりに期待する。
No.44 教育委員会費 2,115	政治的中立性や継続性、安全性の確保、地域住民の意思の反映のため、全国すべての自治体に設置	10	3	A	A	A	A	○	今後とも、町の教育の状況を的確に把握し、活発な議論を期待する。

27 福島町議会だより

－ 第119号 平成30年12月1日発行 －

総務教育常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

(単位：千円)

事務事業名 (平成29年度事業費)	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.45 教育関係団体・大会 参加助成費 3,754	教職員団体への助成、児童生徒の全道・全国大会参加費用の助成、学校給食費の無償化	8	4	A	A	A	A	○	各種団体等の状況等を十分把握のうえ、助成事務を執行されたい。
No.46 福島商業高等学校 存続対策費 13,717	入学時の奨励金や検定受験等の助成ほか	7	3	A	A	A	A	○	高校と連携のうえ魅力ある学校づくりに邁進されたい。
No.47 友好町交流事業費 1,507	長野県木曽町、長崎県松浦市との中学生交流	6	3	A	A	A	A	○	三市町交流事業を維持するとともに、墨田区との交流の展開を期待する。
No.48 A L T 招致費 10,147	英語指導助手 2 名招致	7	4	A	A	A	A	○	引き続き英語教育の充実に努力されたい。
No.49 児童生徒輸送費 6,178	児童生徒の通学、学校行事、各種大会参加等への輸送	9	4	A	A	A	A	○	現状の児童生徒送迎等を維持されたい。
No.50 就園・就学奨励援助費 5,473	私立幼稚園就学奨励費、特別支援学級奨励費、要・準要保護就学援助費の交付	8	4	A	A	A	A	◎	引き続き対象世帯の経済的負担を支援していくこと。
No.51 奨学金貸付費 7,980	経済的理由により高校、大学等に就学が困難な学生への奨学資金貸付	9	3	A	A	A	A	○	国の状況を見ながら給付型奨学金の検討を進めること。
No.52 基礎学力向上支援事業費 4,610	中学校生徒個々の基礎的理解度の向上支援授業、小中教諭の先進地視察研修	6	4	A	A	A	A	○	時代の流れに応じた独自の支援策を展開されたい。
No.53 教員住宅整備事業費 25,272	教員の生活拠点となる住環境の整備・管理	5	3	A	A	A	A	○	引続き計画的な整備に努めること。
No.54 私立学校振興費 1,700	私立幼稚園への管理運営費の助成金交付	6	4	A	A	A	A	○	幼児教育の充実が図られている。
No.55 小学校管理費 20,222	小学校の適正な管理運営、学校施設等の維持整備	10	3	A	A	A	A	○	児童が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。
No.56 中学校管理費 11,959	中学校の適正な管理運営、学校施設等の維持整備	10	3	A	A	A	A	○	生徒が快適な環境で学習できる施設の長寿命化対応に努められたい。
No.57 学校給食センター費 37,678	児童・生徒への学校給食の充実	8	3	A	A	A	A	○	米等の地元食材の利用割合を上げ、メニューに工夫を加え、残さず食べられるおいしい給食の提供に努められたい。
No.58 学校給食センター 施設維持管理費 1,664	学校給食センターの施設・設備等の維持管理	7	4	A	A	A	A	○	給食の提供に支障のないよう、安心安全な維持管理に努められたい。
No.59 社会教育総務費 1,129	社会教育の全般的な推進	6	2	A	A	A	A	○	町の社会教育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と事業展開を期待する。

(単位：千円)

事務事業名 (平成29年度事業費)	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.60 読書活動費 6,368	図書室（福祉センター内） の運営	11	4	A	A	A	A	○	これからも、より町民に親しまれるような運営を期待する。
No.61 成人教育費 588	学級講座開催、ブックスタート事業・高齢者学級の運営、 ふくしま女性の会・PTA 連合会の運営費助成	7	4	A	A	A	A	○	異世代間の交流が図られているが、引き続き住民ニーズを把握し、リーダー養成に努められたい。
No.62 青年教育費 237	教育委員会主催の成人式、 実行委員会(新成人)主催の 成人祭の開催運営助成	8	4	A	A	A	A	○	成人式の在り方の検討を進めると共に、 青年教育の新たな展開を検討されたい。
No.63 少年教育費 309	小中学生を対象とした青少年 主張大会、吉岡小学校学 校開放事業、少年対象講座 の開催	7	3	A	A	A	A	○	通学合宿や福島学ジュニアなど新たな 事業も取り入れているが、さらに積極 的な展開を期待する。
No.64 芸術・文化費 686	芸術鑑賞事業、文化団体組 織育成事業	7	3	A	A	A	A	○	新たな展開を期待する。
No.65 文化財保護費 1,386	文化財調査委員会議の開催、 伝統文化の保存・伝承、文 化財保護思想の普及	8	4	A	A	A	A	○	チロップ館を活用した専門的な文化財 保護活動に期待する。
No.66 保健体育総務費 3,116	スポーツ推進会議の開催、 各種社会体育事業、各団体 への運営費助成	6	3	A	A	A	A	○	町の保健体育の状況を的確に把握し、 指導体制の確立と事業展開を進めるこ とを期待する。
No.67 総合体育館運営費 11,437	総合体育館施設の維持管理 運営	6	2	A	A	A	A	○	利用者の視点に立った維持管理に努め られたい。
No.68 町民プール運営費 8,314	町民プール施設の維持管理 運営	7	1	A	A	A	A	○	町民プールの有効活用を進められたい。
No.69 ファミリースポーツ 公園管理費 6,313	ファミリースポーツ公園 (パークゴルフ場) 施設の 維持管理運営	6	2	A	A	A	A	○	利用者が高齢化、減少する中で、児童・ 生徒の利用を促進するPR等の検討を。
No.70 福祉センター運営費 14,246	福祉センター施設の維持管 理運営	5	3	A	A	A	A	○	施設の適切な維持管理に努められたい。

来年度の評価に向けて【両委員会共通意見】

現状の評価方法の達成度・効果性では適切な評価とならない項目も見受けられるため、評価シートの見直しを始めたとした評価方法全般について改善を検討されたい。

経済福祉常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

(単位：千円)

事務事業名 (平成29年度事業費)	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.15 戦没者追悼式事業費 264	戦没者を追悼する式典	5	3	A	A	A	A	○	遺族会とも協議のうえ、戦争の無い平和の誓いを全町的に行う行事として新たな展開の検討が必要です。
No.16 社会福祉費 1,450	社会福祉団体への補助金 (社会福祉協議会外)	4	2	A	A	A	A	○	引き続き高齢者や低所得者の生活安定のため、社会福祉業務全般について適切に執行願いたい。
No.17 高齢者行事費 2,439	敬老会、高齢者スポーツ大会の開催	5	2	A	A	A	A	○	全町的な行事の継続については評価します。今後とも趣向を凝らし参加者に楽しんでいただけるよう期待します。
No.18 在宅福祉事業費 1,040	老人クラブ連合会への補助	5	2	A	A	A	A	○	老人クラブの活発な活動に期待します。
No.19 吉岡総合センター 管理運営費 7,187	吉岡総合センターの維持管理	4	2	A	A	A	A	◎	利用者のニーズに合った適切な管理運営に努められたい。
No.20 学童保育費 6,062	授業終了後の保育に欠ける学童の保育	6	3	A	A	A	A	○	教育委員会と連携し、特色を持った運営を期待する。
No.21 ごみ減量化対策費 0	家庭から排出される生ごみの自家処理機購入に対する助成	7	0	B	B	B	C	△	可燃ごみ排出量は減少しておらず、生ごみの水切りの徹底や住民が実行しやすい効果的な対策を進められたい。
No.22 保育所費 28,838	福島保育所（定員60名）の運営	7	3	A	A	A	A	○	教育委員会と連携し特色のある認定こども園を期待する。年齢バランスを考えた正職員の採用を検討願いたい。
No.23 社会福祉総務費 808	社会福祉団体活動支援、高齢者・障がい者福祉増進、寝たきり老人介護者手当支給	6	3	A	A	A	A	○	社会福祉業務全般について、適切に執行願いたい。
No.24 重度心身障がい者等 タクシー料金助成事業費 405	病院等へ通院するためのタクシー料金の一部を助成	5	4	A	A	A	A	○	引き続き適切に執行願いたい。
No.25 老人福祉費 0	高齢者等に生活支援サービスを提供し、緊急時の連絡体制の整備を図る	5	3	A	A	A	A	○	検証を行い、高齢者に対する利便性のある事業として一本化することも必要ではないか。
No.26 健康づくり推進費 1,045	健康づくり推進員の配置等による町民の健康増進	6	2	A	A	A	A	○	健康づくり推進員と保健師が連携しながら日常生活の中で健康に対する意識の醸成を促す活動を進められたい。
No.27 医療対策費 (保健衛生総務費) 603	在宅当番医制運営事業への負担金、保健師等に対して修学資金貸付	5	1	B	A	A	A	△	毎年貸付実績がない状況であり、要因を分析し、今後の対応を検討すべき。
No.28 医療対策費 (医療対策費) 1,925	子ども医療費に係る福祉医療システムの管理、日曜当番医制による町民健康保持	7	3	A	A	A	A	○	広域的な取り組みを進められたい。

(単位：千円)

事務事業名 (平成29年度事業費)	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.29 老人保健費 684	40歳から64歳の町民の疾病の予防、治療、機能訓練等の健康増進事業の実施	7	3	A	A	A	A	○	在宅リハビリ（作業療法士の配置）を充実させるための検討が必要です。
No.30 活性化センター管理 運営費 1,226	「あづま〜る」施設の管理運営	5	1	B	A	B	B	○	地域文化の活動拠点としての利用と、食や歴史等の町内外への情報発信を期待する。
No.31 多面的機能支払交付 金事業費 1,696	多面的機能支払交付金事業を実施している団体への活動経費の交付	5	2	A	A	A	A	○	地域活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
No.32 熊等による被害対策費 2,652	熊等の有害鳥獣の被害防止と危険個所の巡回	6	3	A	A	A	A	○	ハンター後継者の確保に努力し、捕獲後の処理負担を軽減のための協力体制の構築と助成金の増額を検討すべき。
No.33 利子補給事業費 1,010	漁業者への貸付に対する融資機関への利子補給	8	3	A	A	A	A	○	関係機関と連携し、円滑に事務を進められたい。
No.34 水産加工振興協議会 補助費 360	協議会の運営に対する補助	6	2	A	A	A	A	○	原料不足と価格高騰のため、当該補助の検証をしながら、基幹産業に対する振興策を検討願いたい。
No.35 水産多面的機能発揮 対策事業費 599	水産業が持つ多面的機能を発揮させるために活動している組織への支援	5	2	A	A	A	A	○	活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
No.36 漁村環境改善総合 センター運営費 3,531	福島・吉岡漁村環境改善総合センターの管理運営	5	1	B	C	C	D	△	福島は改修しながら現状維持に努められたい。吉岡については評価対象から外すべきである。
No.37 労働所費 418	雇用保険の手続き、職業紹介、職業援護相談所への助成	9	3	A	A	A	A	△	福島職業援護相談所の在り方を含めて抜本的な事業の見直しが必要です。
No.38 地場産業開発研究事業費 800	福島町地場産業開発研究会への補助金の交付	6	1	B	A	A	A	△	事業の硬直化、固定化が見られることから構成団体・事業者の主体的参画を喚起する対応が必要である。
No.39 観光振興費 7,465	観光協会への補助、新聞、ラジオ等を活用したPR事業	8	1	B	B	B	B	△	当町の観光事業の実態として、観光協会やまちづくり工房が単独での体制確保は困難であり、早期に町の方針を示し、体制の充実を図るよう指導・助言されたい。
No.40 横綱記念館管理運営費 16,124	横綱記念館の管理運営	5	2	A	A	A	A	○	九重部屋あつての記念館ということを意識し、貴重な資料を無駄にすることなく両横綱の偉業を顕彰し大切に引き継いでいく努力を。
No.41 特産品センター管理費 2,443	特産品（スルメ、コンブ）販売施設の管理運営	8	3	A	A	A	A	○	道の駅としての評価が低い現状を踏まえ、内容充実を図るための再検討が必要です。
No.42 青函トンネル記念館 管理運営費 9,641	青函トンネルの工事記録や技術情報、等のトンネル文化を後世に伝える施設の管理運営	7	2	A	A	A	A	○	情報発信が不足している。イベントも含めて積極的な施設の利活用を考え、第2の青函トンネル構想などの企画展示に積極的に取り組まれたい。
No.43 街灯料助成事業費 2,410	街路灯設置及び街灯料の助成	7	3	A	A	A	A	◎	他の公共施設等のLED化も期待する。

31 福島町議会だより

－ 第119号 平成30年12月1日発行 －

◇ 会議等出席状況 ◇

会議や議会へ通知があった行事等の8月から11月までの出席状況をお知らせします。
「○」は出席、「×」は欠席、「－」は出席不要・任意、
「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、
「職」は正副議長の職務出席を表しています。

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	杉 村	川 村	花 田	木 村	平 沼	佐 藤	熊 野	平 野	溝 部
8月5日	北海道150年記念式典（札幌市）	－	－	－	－	－	－	－	－	○
6日	福島町議会基本条例諮問会議（第2回）	－	－	－	－	○	－	－	○	○
7日	福島中学校野球部の第40回全国中学校軟式野球大会出場選手壮行式	－	－	－	○	－	○	－	○	○
8日	議会運営委員会（定例会8月会議運営）	－	○	○	－	○	○	○	職	職
	町立診療所設置調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会8月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9日	新篠津村議会視察受入れ	－	－	－	－	○	－	－	○	○
13日	第32回やるべ福島イカまつり	－	－	○	○	－	－	－	○	○
14日	平成30年度福島町成人式	○	○	－	－	○	○	－	○	○
21日～23日	議会広報研修会（札幌市）	－	－	－	－	－	－	○	－	－
27日～28日	渡島・桧山町村議会議長会連絡会議（長万部町）	－	－	－	－	－	－	－	－	○
9月3日	自民党北海道第八選挙区支部主催「渡島総合開発期成会」要望会（函館市）	－	－	－	－	－	－	－	－	○
4日	経済福祉常任委員会（第2青函トンネルほか）	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○
	町立診療所設置調査特別委員会報告書手交	－	－	－	－	－	－	－	○	○
11日	渡島西部広域事務組合平成30年度第2回定例会	－	－	○	－	－	○	－	－	○
	正・副議長定例会9月会議議案説明	－	－	－	－	－	－	－	○	○
12日	一般質問通告	○	－	－	○	○	－	○	－	○
	議会運営委員会（定例会9月会議運営）	－	○	○	－	○	○	○	職	職
14日	定例会9月会議議員勉強会	○	○	○	○	－	○	○	○	○
	総務教育常任委員会（所管事務調査事件の決定）	－	○	－	○	－	○	－	○	○
19日	定例会9月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20日	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21日	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	秋の交通安全運動町民大会・祈願祭	－	－	－	－	○	－	－	－	○
22日	福島町敬老会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24日	第28普通科連隊創立58周年・函館駐屯地開庁68周年記念行事（函館市）	－	－	－	－	－	－	－	－	○
25日	定例会9月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（定例会9月会議反省事項）	－	○	○	－	○	○	○	職	職
	経済福祉常任委員会調査報告書の手交	－	－	－	－	－	－	○	○	○
29日	福島幼稚園 うんどう会	－	－	－	－	－	－	－	－	○
30日	福島中学校学校祭	－	○	○	－	－	－	○	－	○
	福島町体育協会設立・総合体育館開館40周年記念行事	－	－	－	○	－	－	○	－	○

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	杉 村	川 村	花 田	木 村	平 沼	佐 藤	熊 野	平 野	溝 部
10月3日	議会運営委員会定例会9月会議反省事項の手交	—	—	—	—	○	—	—	○	○
6日	「はこだて福島会」総会（函館市）	—	○	—	—	—	○	○	○	○
9日	議会基本条例諮問会議（第3回）	—	—	—	—	○	—	—	○	○
13日	ふくしま健康フェスティバル	—	○	—	—	—	—	—	○	○
	福島小学校学習発表会	—	○	○	—	—	—	—	—	○
14日	吉岡小学校学習発表会	—	—	—	—	○	—	—	—	○
15日	福島中学校公開授業参観	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	経済福祉常任委員会自治体視察事前打合せ会議	○	—	○	—	○	—	○	○	○
16日	渡島管内市町議会議員研修会（北斗市）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17日	高齢者ふれあいスポーツ大会	○	○	○	—	—	○	○	—	—
	秋田県小坂町議会視察受入れ	—	—	—	—	○	—	—	○	○
18日	経済福祉常任委員会自治体視察（乙部町、厚沢部町）	○	—	○	—	○	—	○	○	○
19日	選挙運動費用の公費負担（選挙公営）制度の調査（北斗市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
23日～25日	渡島西部四町議員連協研修視察（仙台市）	—	○	—	—	—	—	○	○	—
26日	渡島廃棄物処理広域連合議会議会運営委員会	—	—	—	—	—	—	—	○	—
28日	第36回南北海道駅伝競走大会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29日	総務教育常任委員会（所管施設視察ほか）	—	○	—	○	—	○	—	○	○
30日	総務教育常任委員会（執行方針の取組み状況）	—	○	—	○	—	○	—	○	○
31日	経済福祉常任委員会（所管施設視察ほか）	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○
11月1日	議会基本条例諮問会議答申	—	—	—	—	—	—	—	—	○
2日	経済福祉常任委員会（執行方針の取組み状況）	○	—	○	—	○	—	○	○	○
3日	福島町表彰式	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5日	渡島廃棄物処理広域連合議会定例会（北斗市）	—	—	—	—	—	○	—	○	—
6日	経済福祉常任委員会（総合計画変更）	○	—	○	—	○	—	○	○	○
	広報広聴常任委員会（福島町商工会との懇談会）	○	—	○	—	○	—	○	○	○
8日	総務教育常任委員会（事務事業評価ほか）	—	○	—	○	—	○	—	○	○
9日	総務教育常任委員会（総合計画変更）	—	○	—	○	—	○	—	○	○
11日	認定こども園お遊戯会	—	○	—	○	—	○	○	—	○
13日	長崎県大村市議会視察受け入れ	—	—	—	—	○	—	—	○	○
	議会運営委員会（議会基本条例等の見直し）	—	○	○	—	○	○	○	職	職
14日	総務教育・経済福祉常任委員会報告書の手交	—	○	—	—	—	—	○	○	○
15日～16日	全国過疎地域自立促進連盟定期総会（東京都）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
16日	町長協議（基本条例等改正）	—	—	—	—	○	—	—	○	○
19日	議会運営委員会（議会だより編集）	—	○	○	—	○	○	○	職	職
	政務活動視察勉強会	—	○	○	○	○	○	○	○	○
20日～22日	第62回町村議会議長会全国大会（東京都）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
21日	円空仏（実物）公開セミナー	—	○	○	○	○	○	○	○	△
27日～28日	政務活動視察（真狩村・仁木町）	—	○	○	○	○	○	○	○	○

33 福島町議会だより

— 第119号 平成30年12月1日発行 —

町民の声

一年生



若松 紳悟さん
(館崎一)

僕は、昨年の冬頃に福島町に帰ってきて、父の下で昆布養殖の従事者として働き始めました。

始めてやる仕事ということもあり、分からないことだらけでしたが、大分なれることができました。

父や先輩漁師の方々と一緒に仕事をすることもありますが、みなさんとても仕事のできる方々ばかりで尊敬しております。

自分も、早く、みなさんに追いつき、一人前の漁師として成長できるように頑張っていきたいと思います。



議員の雑感

災害に対する対策



経済福祉常任委員
花田 勇

今年の日本列島は、台風の上陸や地震等による災害が数多く発生しました。

このため各地では土砂崩れや河川の氾濫により大きな被害を被っています。

また、住民の方達にも、数多くの犠牲者が出ています。

9月6日未明に発生した胆振東部地震では、当町は、二日間にもわたる停電だけで大きな被害も無く安心しましたが、それでも水産加工業者や商店の方達は、被害を受けられています。

今後は、更に温暖化が進み災害が多く発生するものと考えられます。

今後の災害に対する町民の安心安全を守るための対策を構築して行かなければと考えるこの頃です。

議会の主な会議予定

※変更・追加となる場合もあります。

12月3日(月)	総務教育常任委員会所管調査	午前10時～	議会議場
	・社会体育施設の指定管理について外		
5日(水)	議会運営委員会	午後3時～	委員会室
	・定例会12月会議の運営ほか		
12日(水)～14日(金)	定例会12月会議	午前10時～	議会議場
12日(水)	議員研修会(講演)	午後3時30分	議会議場
	* 神原 勝 北海道大学名誉教授(福島町議会基本条例諮問会議委員)		
	演題:「いま自治体議会が直面していること」		

編集後記



今年も残すところ一ヶ月となりましたが、皆様にとつてどんな一年だったでしょう。

台風・地震と想定外の自然災害に見舞われた大変な一年だったと思います。

年末は、忘年会などで酒席が多くなるとありますが、「酒は飲んでも飲まれるな」を肝に銘じて、一年を振り返りながら楽しいひと時をお過ごしください。

ただし、飲酒運転は厳禁です。人生が一瞬にして崩壊します。「飲んだら乗るな」も肝に銘じてくれぐれも。

朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。お体ご自愛の上、来る年を健やかに迎えてください。

今回は、9月会議を中心とした「議会だより第119号」をお届けしました。



北方領土返還要求運動
シンボル「千島桜」